

上旬、富士山で開催された観察会で採取されたベニタケ科のきのこについて紹介がありました。富士山において採集された種とノルウェーとドイツで採集された種に、共通種が含まれていることに非常に興味を持ちました。

講演会後は、三重大大学の宿舎翠明荘において懇談会が開かれました。飲食をしながら菌類等の話題で大変盛り上がりしました。懇談会には大学生から70歳代まで幅広い世代が参加し、年齢を超えて親睦を深めることができました。



写真 海岸での観察会の様子

2日目は、研究室見学と海岸の菌類観察会が行われました。まず、三重大学生物資源学部森林生物循環学研究室等を見学し、研究に用いられる機械の説明を受けました。些細な質問にも丁寧に回答していただき、有意義な見学でした。その後、三重大大学の東側に位置する海岸で観察会が行われました。海岸にはクロマツ林が帯状に分布し、例年ショウロがみられます。昨年まではクロマツ林内で落ち葉かきがされていましたが、今年はされておらず、ショウロを発見できるか危惧されました。しかし、一つを見つけたのを皮切りに次々と採集されました。ショウロの他にも、アバタケシボウズタケが見つかりました。

2日間という短い日程ではあったものの、ベニタケ科にとどまらない菌類全般について学ぶ貴重な機会でした。来年度も開催されることを期待しています。

E-mail: yoshimon@maia.conet.ne.jp (下野義人)

### 一般社団法人日本菌学会 2017年度第1回理事会 議事録

日時：2017年4月16日(日) 10:00~17:30

場所：東京理科大学葛飾キャンパス・研究棟11階生物工学科ゼミ室1

出席者(順不同、敬省略)：次期会長候補 山岡裕一、次期副会長候補 矢口貴志、次期理事候補 太田祐子(企画・普及)、岡根 泉(庶務)、清水公德(庶務)、田中千尋(企画・普及)、玉井 裕(日本菌学会会報編集責任者)、出川洋介(国際集会)、中島千晴(会計)、名部みち代(国内集会)、服部 力(編集委員長)、山田明義(国内集会)、幹事候補 伴さやか(庶務)、本橋慶一(会計)、喜友名朝彦(庶務)

※本理事会は、4月23日開催の一般社団法人日本菌学会2017年度第1回総会(以下、総会)のための会議であり、日本菌学会2017・2018年期会長・副会長・理事・評議員選挙の結果にもとづく理事候補者12名による会合であるが、議事は旧来の日本菌学会理事会と同様に進行されたものであり、一般社団法人日本菌学会2017年度第1回理事会として開催されたものであることが総会により承認された。よって会員に対する情報公開資料として本議事録をまとめたものをご承知おき下さい。

### 報告事項

資料をもとに以下の事項の報告があり、承認された。

#### 1. 庶務関係(岡根・清水)

- ・2017年3月末時点での会員動向は以下の通りである：正会員(国内594→578, 国外39→38), 学生会員(国内122→120), 賛助会員17→15。

#### 2. 会計関係(矢口)

- ・2017年度決算案は勝美印刷を通して費目等のチェックを済ませ、4月17日に勝美印刷において監査実施予定である。

#### 3. その他

- ・国内集会関係、国際集会関係、企画・普及関係、編集関係についてはとくに報告事項がなかった。

### 審議事項

#### 1. 2017-2018年度日本菌学会運営体制(山岡)

- ・2017-2018年度日本菌学会運営体制について提案があり、承認された。
- ・理事と幹事の担当名称「企画・普及」と「広報・普及」「広報」は、「企画・普及」に訂正統一することが承認された。
- ・各支部会長を学会運営体制から削除することが承認さ

れた。

- ・ ニュースレター編集委員長は企画・普及幹事とすることが承認された。
- ・ 編集担当幹事2名は、編集委員会の編集幹事とすることが承認された。
- ・ 会計監査は会計監事に修正することが承認された。
- ・ ホームページ (HP) ワーキンググループ (WG) について、WG 内で責任者を定めることが承認された。
- ・ 60 周年委員会は活動が終了し、解散していることが確認された。
- ・ 新菌学用語集の改訂について、菌類データベース (DB) 委員会の活動内容とあわせ、検討する必要性が確認された。

## 2. 2017 年度庶務関係事業計画案 (岡根・清水)

- ・ 資料をもとに以下の通り 2017 年度の事業計画案が説明され、承認された。

- 1) 本年度事業の概要
- 2) 会議の開催について
- 3) 名誉会員候補の推挙, 各賞候補, 功労会員候補の募集について
- 4) 事業委託・会誌の出版
- 5) 法人化関係
- 6) その他

## 3. 2017 年度国内集会計案 (山田・名部)

- ・ 今年度の計画については、昨年度承認された内容通りであることが説明され、承認された。
- ・ 菌類観察会 (銚子フォーレ) 参加申込書は日本菌学会会報 58 巻 1 号 (日菌報 58 (1)) の発送と同梱されることが報告された。

## 4. 2017 年度国際集会計案 (出川)

- ・ 資料をもとに、以下の通りの計画案が説明され、承認された。

- 1) ICSEM9 (国際変形菌類分類・生態学会議) の共催による開催 (本年 8 月)
- 2) 国立科学博物館主催の国際シンポジウムに協力をする (本年 11 月)
- 3) AMC2017 (アジア国際菌学会, ベトナム, 本年 10 月) でのシンポジウム開催
  - ・ 次回の AMC2019 開催に向けた誘致活動をする方向で総会において提案することが承認された。
  - ・ AMC2017 などの国際学会に参加・発表する若手会員への渡航支援 (最大 20 万円) を行うことが承認された。
  - ・ 韓国菌学会との共催企画について、AMC2017 会期中に先方と相談することが承認された。
  - ・ 中華民国真菌学会との共催企画について、共催シンポジウムを台湾にて実施することが承認された。

## 5. 2017 年度企画・普及計画案 (太田・田中)

- ・ 資料をもとに、以下の通りの計画案が説明され、承認された。

- 1) 中高生向け講座は 8 月頃神奈川県にて開催
- 2) 教員向け講座, 菌類講座は実施しない方向で検討中
  - ・ HP の移行について説明があり、総会に提案することが承認された。
  - ・ サーバー維持費用年間約 15 万円は毎年必要となることが説明され、承認された。
  - ・ 関東支部と西日本支部 HP への対応について、ドメインを共有するか別にするかについての説明があり、1 年以内に外部に移行する期間を設ける方向で検討することが承認された。

## 6. 2017 年度編集計画案 (服部・玉井)

- ・ 資料をもとにエルゼビア社との契約内容修正について説明があり、承認された。
- ・ 契約ページ数の変更について、次年度 (2018 年) から契約ページ数を 460pp に増やすことが提案されたが、現状のまま 420pp とし、超過した場合は超過料を支払うことで承認された。
- ・ 新投稿査読システム EVISE の導入手順について説明があり、会員確認や掲載料支払いの意思確認について Author agreement のページを検討する必要性が指摘された。
- ・ オープンアクセス (OA) の導入について、科研費の事業計画に対応する必要もあることから、OA を一部取り入れる方向でエルゼビア社と検討していることが説明され、菌学会賞受賞総説を軸に対象論文を選定することが承認された。
- ・ 和文誌の J-STAGE でのバックナンバーの公開を進めることにより学会 HP への掲載休止が可能となることが説明され、承認された。
- ・ 法人化の件で日菌報 58(1) の原稿チェックの必要があることが説明され、承認された。

## 7. 2017 年度予算案 (中島)

- ・ 会計処理方式の変更について説明があり、承認された。
- ・ アジア地域新種/新産種等公表 (国際的発信を目的とする科研費関連事業) について説明があり、DB 委員会との連携も必要であることが確認された。
- ・ 会計の処理について説明があり、今後はフォーレなど行事ごとの事業用口座を個別に開設する必要性が確認された。
- ・ 会計処理について、監査に耐える形を会計士に相談する必要性の説明があり、承認された。

## 8. その他

- ・ 田中より菌学会のロゴが複数種類存在していることが説明され、HP 掲載のロゴをオリジナルとして使用することが提案され、承認された。
- ・ 4 月 23 日開催の総会について、資料は清水が取りまとめることが確認された。

以上

## 総会報告

## 一般社団法人日本菌学会 2017 年度第 1 回総会 議事録

日時：2017 年 4 月 23 日（日）13:00～17:00

場所：東京理科大学葛飾キャンパス・研究棟 11 階生物工  
学科ゼミ室 1

出席者（順不同，敬称略）：設立時役員 山岡裕一（会長），  
星野 保（理事），岡根 泉（理事）；

代議員 会見忠則（委任状），青木孝之，安藤勝彦（委任  
状），稲葉重樹，大園享司（委任状），太田祐子，岡田 元，  
岡根 泉（再掲），折原貴道（委任状），景山幸二（委任  
状），糟谷大河，清水公德，清水由巳，早乙女梢（委任  
状），田中栄爾（委任状），田中和明（委任状），田中千  
尋，玉井 裕，出川洋介，寺嶋芳江，中桐 昭（委任状），  
中島千晴，名部みち代，根田 仁，服部 力，伴さやか，  
吹春俊光，保坂健太郎，星野 保（再掲），細江智夫，細  
矢 剛，前川二郎（委任状），松澤哲宏（委任状），矢  
口貴志，山岡裕一（再掲），山田明義，渡辺京子，オブ  
ザーバー 鶴海泰久（監事），本橋慶一（会計幹事）

**総会成立の確認**：総会の開催に先立ち，代議員 26 名出席，  
11 名の委任状により本総会の成立が確認された。また，  
日本菌学会（任意団体）2016 年度の事業報告を前期（法  
人設立時）の星野理事が行うことが了承され，オブザー  
バーとして鶴海監事および本橋会計幹事の出席が認め  
られた。

**1. 2016 年度事業報告（星野・前庶務担当理事）**：資料を元  
に以下の事項の報告があり，承認された。

**1) 庶務関係**

- ・ 会員の総数は 2017 年 3 月末で 984 名。海外の英文誌  
会員から正会員への移行に伴い増加，学生会員も若干  
増加。賛助会員は 2 社退会。正会員・齊藤茂氏が逝去  
された（2016 年 12 月 7 日）。
- ・ 理事会及びメール会議の開催（2016 年度第 4 回理事会  
以降分）  
以下のメール審議が行われたことが報告された。  
2017 年 3 月 24 日～31 日 学会ホームページ（HP）作  
成の一時留保について
- ・ 菌学会各賞授賞者及び授賞論文の選考，役員選挙につ  
いて選考委員からの報告を元に承認された。
- ・ Mycoscience のエルゼビア・ジャパン社（以下，E 社）  
との契約更新は，E 社から 5 つの提案があり，いずれ  
も概ね受け入れる方針であることが報告された（詳細  
は 2016 年度第 4 回議事録の通り）。

**2) 学会法人化関係**

- ・ 法人化に伴う税負担，帳簿，財産の移行，会費徴収，  
会計及び Mycoscience の契約見直しについて，勝美印  
刷及び E 社と問題がないことを確認した。
  - ・ 定款案及び役員・代議員選挙規則案を修正した。
  - ・ 法人の登記手続きを完了し，履歴事項全部説明書，法  
人印，印鑑カード，印鑑証明書は勝美印刷にて保管す  
ることとした。
  - ・ 法人会計処理のため，別添の業務契約書案に基づき会  
計士を雇用することとした。
  - ・ 関連団体（支部）への通知を 4 月以降に行い，その際  
に勝美印刷と関係団体との契約について確認し，必要  
に応じて対応することとした。
  - ・ 会員説明会はこれまでの総会に準じて実施すること，  
また，役員交代直後の事業計画案については，新理事  
候補者が総会前にまとめることとした。
- 3) 国内集会関係**：資料をもとに，2016 年度の報告（詳細  
は 2016 年度第 4 回議事録の通り）があった。2017 年  
の環境微生物系学会合同大会（仙台）の準備状況に関  
する説明があった。
- 4) 国際集会関係**：資料をもとに以下の活動について報告  
された。
- 4-1) 日本菌学会 60 周年記念国際シンポジウム：国内集会  
と共同で，2016 年 9 月 17 日，京都大学。演者 3 名  
（うち 2 名アメリカ在住）。
- 4-2) 第 10 回国際極地と高山帯の菌学シンポジウム：2016  
年 8 月 28～29 日，金沢市アートホール。採集会 8 月  
30～31 日，石川県白山，9 月 2～4 日，筑波大学菅平  
高原実験センター。参加者：22 名（金沢）及び 13 名  
（菅平）。
- 4-3) 韓国-日本合同シンポジウム：2016 年 11 月 4 日，韓  
国高陽市。日本から 3 名，韓国から 2 名が発表。
- 4-4) IMC11（2018 年，プエルトリコ）開催予定のシンポ  
ジウム，ワークショップの募集を ML に流したが応  
募はなかった。
- 5) 企画・普及関係**：資料をもとに以下の活動について報  
告された。
- 5-1) 菌類講座（腹菌類）2016 年 6 月 25～26 日，大阪自  
然史博物館。関西談話会・幼菌の会と共催。参加者：  
講演会 40 人，ワークショップ 25 人。
- 5-2) 中高生向け講座「博物館で菌類を調べよう」2016 年  
7 月 31 日，神奈川県立生命の星・地球博物館と共催。  
参加者 18 人。
- 5-3) 大学生のための菌類学入門「菌類全般の分類・生態  
に関する講義」2016 年 8 月 6 日，国立科学博物館（以  
下，科博）と共催。目黒自然教育園。参加者 19 人。
- 5-4) 教員向け講座「先生に知ってほしい菌のヒミツ」2016  
年 8 月 18～19 日，科博と共催。参加者：18 日 35 人，  
19 日 17 人。
- 5-5) いきものマイクロたんけん隊 2016 年 11 月 27 日，微生

物生態学会と共催。茨城県自然博物館。参加者約 40 人。子供向けのアウトリーチ活動。菌学会から 3 名がボランティア参加。

5-6) 自然史学会連合主催講演会へのブース出展。2017 年 1 月 21 日, 群馬県博。

5-7) 出版物等

- ・ 60 周年記念出版物「驚きの菌ワールド -菌類の知られざる世界」が 2017 年 2 月 28 日付けで出版された。
- ・ 日本菌類百選は八坂書房が主導で進行中。
- ・ 法人化に伴う定款をホームページに掲載。
- ・ ホームページは勝美印刷に業務委託となる。

6) **編集委員会**: 資料をもとに 2016 年度の編集・出版について報告された。Mycoscience は契約ページ数を減らして、500pp から 420pp (1 号あたり 90 p→70p) としたことが報告された。

6-1) Mycoscience [IF (2015) 1.165] (追加分)

Volume 57, 2017 (pp.447) (契約頁数 500)

57 (4): 233-301 (pp. 69), July 2016 (論文 6 編, 短報 3 編)

57 (5): 233-301 (pp. 71), Sep 2016 (論文 6 編, 短報 2 編, 資料 1 編)

57 (6): 303-373 (pp. 77), Nov 2016 (論文 5 編, 短報 4 編, 資料 2 編)

Volume 58, 2017 (pp.127) (契約頁数 420)

58 (1): 1-67 (pp. 67), Jan 2017 (総説 1 編, 論文 3 編, 短報 5 編)

58 (2): 69-127 (pp. 59), Mar 2017 (論文 3 編, 短報 4 編, 資料 2 編)

6-2) 日本菌学会会報

第 57 巻, 2016 年

57 (1): 総説 (招待原稿) 3 編, 論文 4 編 (8 月 17 日より J-Stage で公開開始)

57 (2): 総説 (招待原稿) 1 編, 論文 2 編, 短報 1 編

6-3) 投稿状況

- ・ 2016 年の投稿数 (1 月 1 日~12 月 31 日; 確定): 投稿 (約 320 報), 審査論文数 218 報, 受理 56 報, 却下 109 報, 取り下げ 24 報。
- ・ アジア地域 (ほとんど非会員) からの投稿が圧倒的多数。内容に本質的問題のある投稿は審査前却下を活用。現在, 掲載待ちの論文はゼロで推移している。

6-4) Elsevier Editorial System (EES)

E 社 EVISE の導入は延期が続いており, 2017 年度内の導入は難しいかもしれない。

6-5) Mycoscience 投稿規定

第一著者あるいはコレスポンディングオーサーが日本菌学会会員 (ただし賛助会員を除く) の場合, 論文のカラー印刷代が請求されないことを, Guide for Authors (GfA) に明記した (8 月 10 日版以降)。

6-6) 編集委員会の開催

以下のメール会議を開催した。

(第 1 回) 2015 年の取りまとめ, Vol. 58 の特別号出版, 出版契約ページ数について

(8 月 24 日~9 月 30 日) 2016 年度平塚賞候補論文の選出

(第 2 回) 京都大会での編集委員会

(第 3 回) 2018 年以降の出版契約についての E 社からの申し入れについて

6-7) 2016 年度平塚賞候補論文の選出

7 月 29 日, 8 月 21 日に事前案内を行なった後, 全体メール会議にて編集委員会選出の候補を選考し, 編集委員会内に平塚賞候補論文選出ワーキンググループ (WG) を設置して, 候補論文 1 篇を選定し, 日本菌学会受賞者及び受賞論文選考委員会委員長に提出した。

6-8) 2018 年以降の Mycoscience 出版契約に関する E 社からの申し入れについて

2 月 9 日, E 社にて以下の意見交換を行い, 両者の基本的合意が成立したために, 出版契約を更新することを確認した。

- ・ Reference のスタイルおよびジャーナル・スタイル (タイプセット・モデル) の標準化, E 社指定の海外印刷会社への変更については, 受け入れ可能であることを示した。

- ・ 学会が徴収する「ページ・チャージ」の廃止: E 社より「投稿料」など名称を変えることで対応可能との提案があり, 持ち帰り学会で検討することにした。

- ・ 著者により Open Access の選択を認める, 雑誌出版のハイブリッド・モデルへの移行: 契約期間内を条件に以降時期を検討する。

6-9) 日菌報の J-STAGE 搭載について

- ・ 8 月 17 日初回公開 (日菌報 57(1)), オンライン ISSN 登録予定番号 2424-1296 が付与された。

- ・ 2016 年度予算で 4 年間 8 号分 (53(2)~56(2)) の搭載作業を勝美印刷へ依頼した。4 月初旬に公開予定。

7) **2016 年度会計決算案**: 資料 (資料 1) をもとに一般会計, 特別会計の報告および 2016 年度会計監査終了の報告があった。なお, 前年度と大きく変わったところは以下のとおり。

- ・ [一般会計] 日菌報のページチャージ (印刷代) が多くなっている。科研費 5 年分, 印税が収入としてある。年次大会 (合同大会) へは 20 万円拠出している。団体の分担金は, IUM から請求書が手違いで届いておらず, 次年度に払うことになった。クレジット払いに対する費用が雑費から業務委託費に移動した。

- ・ [特別会計] 内容は例年通り。60 周年記念大会の支出は, 特別会計: 振興費からではなく, 一般会計: 科研費から拠出した。

8) **支部報告**: 各支部より 2016 年度活動報告があり, 承認

された。

- 9) 一般社団法人日本菌学会の監査報告（奥田監事欠席，代理・岡根庶務担当理事）：2016年12月からの第1期年度の業務について監査の報告がされた。一般社団法人には資産がゼロであるため，創立費が貸方として記載され，菌学会（任意団体）からの負債（未払い費用）として計上されている。

以上の各担当者からの報告について審議し，本総会は各事項を承認した。

## 2. 2017-2018 年期の役員選任：

日本菌学会 2017-2018 年期会長・副会長・理事・評議員選挙の結果にもとづき会長候補者，副会長候補者を含む理事候補者7名（山岡，矢口，太田，岡根，清水，出川，服部）が選出され，協議によりその他の理事候補者5名（田中，玉井，中島，名部，山田）を選出した。以上の12名の理事候補者による互選の結果，会長候補者として山岡が，副会長候補者として矢口が選出されたことが報告され，いずれも承認された。また，総会において田中一新氏，鶴海泰久氏が監事に選出された。

## 3. 審議事項

### 1) 会長挨拶

山岡会長より，今年度の活動方針等について述べられた。

### 2) 運営体制（山岡）

資料（資料2）をもとに2017-2018年期の運営体制について説明があり，了承された。

### 3) 2017 年度事業計画案（清水）

資料（資料3）をもとに大会・観察会の実施，Mycoscience・会報の発刊，ニュースレターの発行，ホームページの活用，学会賞等の募集，名誉会員の推挙，総会・理事会・会員説明会の開催案について説明があり，了承された。

### 4) 2017 年度法人化関連計画案（岡根）

資料をもとに会計士との業務契約について説明され，了承された。

### 5) 2017 年度国内集会計画案（名部・山田）

資料（資料4）をもとに今年度の国内集会計画について説明され，了承された。また，今年度の合同大会の要旨集は，合同大会 HP には掲載されるが印刷物として残らず，J-Stage にも掲載されないため，菌学会の要旨としては1年欠号となることについて懸念する意見があり，合同大会側に確認することとした。

### 6) 2017 年度国際集会計画案（出川）

資料（資料5）をもとに今年度の国際集会計画について説明され，了承された。また，AMC 2017（ベトナム）への若手会員渡航支援，中華民国真菌学会（台湾）と

の共催シンポジウムについての説明があり，了承された。さらに，AMC 2019 を日本に招致する計画案について説明があり，審議の結果，了承された。

### 7) 2017 年度編集計画案（玉井・服部）

資料（資料6）をもとに今年度の Mycoscience および日本菌学会会報の編集計画について説明され，了承された。

### 8) 2017 年度企画・普及計画案（太田・田中）

資料（資料7）をもとに今年度の企画・普及計画について説明され，了承された。また，学会 HP の改訂および移行について専門の WG を設置し，推進することが説明され，了承された。

### 9) 2017 年度予算案（中島）

資料（資料8）をもとに今年度の予算案について説明され，了承された。また，法人化に伴う会計システムの変更等に関する質疑があり，審議の結果，いずれも了承された。

### 10) その他

60周年事業について，データをまとめて公表できるよう，日菌報への投稿準備をしていることが説明され，了承された。

以上

収入の部					
費目	2015年度決算	2016年度予算	2016年度決算	消化率(%)	備考
<b>会員費</b>	<b>8,708,050</b>	<b>8,480,850</b>	<b>8,102,800</b>	<b>95.5</b>	
正会員	6,506,600	6,413,000	5,656,000	88.2	正会員583人×¥11,000として
学生会員費	418,000	503,800	558,800	110.9	国内学生会員84人×¥5,500;海外8人×¥5,500×0.95
海外会員費	85,800	94,050	414,675	440.9	海外正会員9人×¥11,000として(-5%分手数料)
英文誌購読会員費	157,650	0	3,325	0.0	英文誌購読会員廃止のため
賛助会員費	950,000	850,000	850,000	100.0	賛助会員17社×¥50,000として
終身会費預金戻金	590,000	620,000	620,000	100.0	終身会員費基金の1割(6,276,513 × 0.1)特別会計参照
<b>出版物販売</b>	<b>2,617,433</b>	<b>1,912,000</b>	<b>2,854,530</b>	<b>149.3</b>	
頁チャージ・超過ページ料	1,809,900	1,200,000	2,450,647	204.2	6000/ページ、200頁程度と見積もり、カラー印刷含む
50周年記念出版CD-ROM等	6,000	4,000	0	0.0	
会報等	785,533	700,000	395,883	56.6	
DVD販売、新版用語集	16,000	8,000	8,000	100.0	希望者への配布:単価8000円×1部
60周年記念書籍	0	0	0	0.0	
<b>事業費戻入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>学術振興会補助金</b>	<b>4,100,000</b>	<b>3,500,000</b>	<b>3,500,000</b>	<b>100.0</b>	
<b>雑収入</b>	<b>1,951,397</b>	<b>1,352,000</b>	<b>1,317,208</b>	<b>97.4</b>	
預貯金利子	1,985	2,000	600	30.0	
学術著作権協会	168,931	100,000	71,358	71.4	
広告費	280,000	50,000	30,000	60.0	
寄付	0	0	0	0.0	
エルゼビア編集経費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	100.0	
その他	300,481	0	15,250	0.0	菌類の事典印税
<b>前年度繰越金</b>	<b>24,705,368</b>	<b>26,076,220</b>	<b>26,076,220</b>		
<b>合計</b>	<b>42,082,248</b>	<b>41,321,070</b>	<b>41,850,758</b>		
支出の部					
費目	2015年度決算	2016年度予算	2016年度決算	消化率(%)	備考
<b>事業費</b>	<b>2,319,405</b>	<b>1,448,950</b>	<b>1,529,610</b>	<b>105.6</b>	
年次大会補助	100,000	100,000	16,500	16.5	
2017年度合同大会準備金	0	200,000	200,000	100.0	
菌類観察会補助	50,000	50,000	50,000	100.0	
学会賞	98,950	98,950	78,408	79.2	「教育文化賞」「奨励賞」橋代賞状(イデア工房前年なみ);平塚賞は特別会計
出版物梱包・郵送料	66,911	50,000	0	0.0	
普及・教育活動	0	100,000	0	0.0	
パンフレット印刷	345,914	0	0	0.0	
60周年記念出版印刷費	0	300,000	300,000	100.0	
日菌報記事のPDF権利買取	9,400	100,000	12,852	12.9	作業中
菌類講座	0	100,000	48,860	48.9	
中高生向講座	0	50,000	0	0.0	
国際シンポジウム	1,558,123	200,000	730,000	365.0	ISAM補助
教員向け研修	90,107	100,000	92,990	93.0	
<b>会報刊行経費</b>	<b>10,519,771</b>	<b>8,913,000</b>	<b>9,192,744</b>	<b>103.1</b>	
Mycoscience・日菌報編集費	725,000	800,000	312,000	39.0	
ニュースレター編集費	0	20,000	0	0.0	
Mycoscience印刷費	8,140,000	6,413,000	6,680,000	104.2	2016年度は2016/04/01～2017/03/31の支払に限定
日菌報印刷費	720,305	700,000	1,241,490	177.4	
ニュースレター印刷費	256,170	280,000	326,800	116.7	
雑誌等発送費	678,296	700,000	632,454	90.4	
<b>運営経費</b>	<b>3,166,852</b>	<b>4,601,000</b>	<b>3,959,045</b>	<b>86.0</b>	
役員選挙	64,288	300,000	276,007	92.0	
業務委託費	1,316,360	1,716,000	1,448,720	84.4	
ホームページ維持費	36,000	50,000	36,000	72.0	
団体分担金	164,408	185,000	80,000	43.2	
交通費	978,903	1,500,000	1,101,230	73.4	
事務通信費	17,185	50,000	26,568	53.1	
法人化定款案作成	50,000	0	0	0.0	
法人化対応費	0	300,000	285,850	95.3	法人化サポート代(勝美)、登記費用、法人印作成費など
諸雑費	207,738	200,000	519,203	259.6	クレジット決済費用含む
各種手数料	331,970	300,000	185,467	61.8	振込手数料を含む
<b>予備費(次年度繰越金)</b>	<b>26,076,220</b>	<b>26,358,120</b>	<b>27,169,359</b>	<b>103.1</b>	
<b>合計</b>	<b>42,082,248</b>	<b>41,321,070</b>	<b>41,850,758</b>		

## 【資料2】

2017-2018 年度一般社団法人日本菌学会運営体制

会長：山岡 裕一

副会長：矢口 貴志

理事(担当)：太田 祐子(企画・普及), 岡根 泉(庶務), 清水 公德(庶務), 田中 千尋(企画・普及), 玉井 裕(日本菌学会会報編集責任者), 出川 洋介(国際集会), 中島 千晴(会計), 名部 みち代(国内集会), 服部 力(編集委員長), 山田 明義(国内集会)

代議員：会見 忠則, 青木 孝之, 安藤 勝彦, 稲葉 重樹, 大園 享司, 岡田 元, 折原 貴道, 景山 幸二, 糟谷 大河, 清水 由巳, 早乙女 梢, 田中 栄爾, 田中 和明, 寺嶋 芳江, 中桐 昭, 根田 仁, 伴 さやか, 吹春 俊光, 保坂 健太郎, 星野 保, 細江 智夫, 細矢 剛, 前川 二太郎, 松澤 哲宏, 渡辺 京子

会計監査：田中 一新, 鶴海 泰久

幹事：井本 敏和(国内集会), 遠藤 直樹(国内集会), 折原 貴道(国際集会), 喜友名 朝彦(庶務), 小林 久泰(国内集会), 佐久間 大輔(企画・普及), 白水 貴(企画・普及), 田中 栄爾(企画・普及), 谷口 雅仁(国内集会), 伴 さやか(庶務), 廣岡 裕吏(国際集会), 本橋 慶一(会計)

編集委員：会見 忠則, 青木 孝之(責任編集者), 有江 力, 稲葉 重樹, 小野 義隆(微小菌類・責任編集者), 折原 貴道, 景山 幸二, 糟谷 大河, 楠田 瑞穂, 佐藤 大樹(日菌報担当), 佐橋 憲生, 清水 公德, 早乙女 梢, 高松 進, 田中 一新, 田中 栄爾, 田中 和明, 玉井 裕(日菌報担当・責任編集者), 中桐 昭, 橋本 靖, 廣岡 裕吏, 深澤 遊, 保坂 健太郎, 星野 保(特別号担当・責任編集者), 細矢 剛, 本田 与一, 前川 二太郎, 宮崎 厚, 宮本 敏澄, 矢口 貴志(*Aspergillus-Penicillium*・責任編集者), 山田 明義, 大和 政秀, 山中 高史, Feng-Yan Bai, Gerald F. Bills, Chi-Yu Chen, Roland Kirschner, Henning J. Knudsen, Ewald Langer, Cedric Pearce, Sung-Oui Suh, James White, Zhu Liang Yang

編集幹事：埋橋 志穂美, 小長谷 啓介

ニュースレター編集委員会：白水 貴(編集委員長), 安藤 裕萌, 大前 宗之, 木下 晃彦, 谷口 雅仁, 広瀬 大

会則検討委員：安藤 勝彦, 清水 由巳, 根田 仁, 前川 二太郎, 矢口 行雄

名誉会員選考委員：田中 和明, 寺嶋 芳江, 中桐 昭, 保坂 健太郎, 松澤 哲宏

授賞者及び授賞論文選考委員：会見 忠則, 岡田 元, 景山 幸二, 田中 栄爾, 吹春 俊光, 星野 保, 細江 智夫

選挙管理委員：糟谷 大河, 渡辺 京子

菌類データベース委員会：青木 孝之, 安藤 勝彦, 田中 栄爾, 服部 力, 吹春 俊光, 細矢 剛

日本菌学会大会会長：斎藤 雅典(仙台)

微生物学系合同大会実行委員：大園 享司

菌類観察会実行委員長：糟谷 大河(千葉銚子)

ホームページワーキンググループ：田中 千尋, 太田 祐子, 田中 栄爾, 細矢 剛, 佐久間 大輔

IMA：出川 洋介

AMC：山岡 裕一

日本微生物学連盟理事：山岡 裕一

植物分類関係学会連盟連絡委員：吹春 俊光

日本分類学会連合連絡委員：細矢 剛

自然史学会連合連絡委員：保坂 健太郎

## 【資料3】

1) 本年度事業の概要

日本菌学会 61 回大会(微生物学系合同大会として・仙台), 2017 年度菌類観察会(千葉・銚子), シンポジウム, 講習会, 公開講演会の開催, 学会誌の発行, 各賞授賞者の募集, 名誉会員候補者の推挙, 功労会員の推薦

2) 会議の開催について

- ・第1回理事会：2017年4月16日 東京理科大学葛飾キャンパス
- ・第1回総会：2017年4月23日 東京理科大学葛飾キャンパス
- ・第2回理事会：2017年8月28日(仙台市)
- ・第3回理事会：2017年11月(予定)
- ・第4回理事会：2018年3月(予定)
- ・第2回以降の総会：持ち回り(各賞授賞及び名誉会員推挙, その他の会議)
- ・各委員会：適宜
- ・その他, 必要に応じてメールによる理事会を開催する。

3) 名誉会員候補の推挙, 各賞候補, 功労会員候補の募集について

名誉会員候補の推挙, 日本菌学会賞, 日本菌学会奨励賞, 日本菌学会教育文化賞, 日本菌学会平塚賞, 日本菌学会会報論文賞の授賞者, および功労会員候補の募集を行う。

4) 業務委託・会誌の出版について

前年度に引き続き, 勝美印刷に会員管理, 出納業務, カード決済, サーバー管理運営(2019年より)等の業務委託を行う。

Mycoscience はエルゼビア社に, 日本菌学会報及びニュースレターは, 勝美印刷に出版委託を行う。



#### 【資料4】

2017年度の事業計画案

##### 1. 日本菌学会第61回大会（環境微生物系学会合同大会2017）

会期：2017年8月28日（月）－8月31日（木）

会場：東北大学川内北キャンパスほか

日本菌学会61回大会会長：齋藤雅典氏（東北大学）

合同大会運営委員（菌学会側代表）：大園享司氏（同志社大学）

28日：各種委員会等（9：30～17：00）、役員懇親会

29日：会員総会ならびに授賞式（11：00～）、口頭発表、ポスター発表、シンポジウムほか

30日：受賞講演（11：00～）、口頭発表、ポスター発表、記念講演、懇親会

31日：口頭発表、ポスター発表、シンポジウムほか

発表申込締切：4月28日（金）；大会参加の事前申込締切：5月31日

いずれも合同大会ホームページから手続きを行う。大会日程も、合同大会ホームページに掲載中。次回日菌報に最終アナウンスを掲載予定。

- ・記念講演会の菌学会側演者：遠藤直樹氏（鳥取大学；昨年度の平塚賞受賞者）
- ・印刷体の要旨集は作成されない。要旨は大会サイトでのPDF公開のみで、J-stageには掲載されない。

##### 2. 2017年度日本菌学会菌類観察会（銚子フォーレ；共催：菌類懇話会、千葉菌類談話会）

会期：2017年9月22日（金）－24日（日）

会場：千葉県銚子市「君ヶ浜しおさい公園」、東庄町「東庄県民の森」、千葉科学大学

実行委員長：糟谷大河氏（千葉科学大学）

22日：講演会（千葉科学大学マリーナキャンパス：銚子市潮見町15-8）、懇親会（銚子プラザホテル、銚子市西芝町11-2）

23－24日：観察会場（君ヶ浜しおさい公園、東庄県民の森）、同定会場（千葉科学大学本部キャンパス：銚子市潮見町3番）

募集人数：80名（定員になり次第締め切り）

参加費：会員4,500円、非会員5,000円、学生3,500円（2日目の昼食弁当を含む、観察会の当日徴収）；懇親会6,000円（当日徴収）

宿泊施設：ホテルサンライズ銚子（銚子市三軒町14-1）；宿泊約17,000円（2泊3日朝食付、支払いは各自）

申し込み方法等の詳細は、日菌報58巻1号及び日本菌学会ホームページを通じて行う。

##### 3. 2018年度主要国内集会の開催案策定

###### 1) 日本菌学会第62回大会

会期：2018年5月25日（金）－27日（日）

開催場所：信州大学農学部（伊那キャンパス）

実行委員長：福田正樹氏（信州大学農学部）

実行委員会組織：今年度の合同大会までに大枠を確定。

シンポジウム：2018年開催予定の日韓国際シンポを組み込む案について検討（今年度の合同大会までに開催の可否を決定）。

###### 2) 2018年度日本菌学会菌類観察会

島根県開催案を検討中、今年度の観察会までに大枠を確定。

#### 【資料5】

##### 1. ICSEM9（9<sup>th</sup> International Congress of Systematics and Ecology of Myxomycetes, 第9回国際変形菌類分類生態学会議）

- ・日本変形菌研究会との共催名義にて開催。
- ・日時場所：2017年8月18-23日、和歌山県田辺市。日本変形菌研究会主催、日本菌学会、田辺市・南方熊楠顕彰会共催。2<sup>nd</sup> circular を配布 <http://henkeikin.org/icsem9/>
- ・参加申し込み受付を開始。 <https://v3.apollon.nta.co.jp/icsem9/> 早割り申し込み締め切り4月30日。菌学会会員は会員価格で申込み可。

##### 2. AMC2017（Asian Mycological Congress, アジア国際菌学会）

- ・日時場所：2017年10月10-13日（14-17日フォーレ）、ベトナム・ホーチミン市（Place Rex Hotel Saigon, 141 Nguyen Hue Blvd, Ho Chi Minh City, Vietnam）。
- （1）MSJとしてシンポジウムを1件提案。
- （2）若手の渡航支援。
- （3）次回、2019年のAMCを日本に招致。

##### 3. 台湾（中華民国真菌学会）との共催シンポジウム

- ・日時場所：2017年10月21日、台湾大学。
- ・日本から、3名程度を派遣。双方の担当者が、テーマ、候補者について協議の上選定。テーマ案：たとえば Rice Blast, Fusarium, Wood decay fungi, Xylariales 等。1名中堅。2名程度、若手の渡航支援。

##### 4. 国立科学博物館との共催シンポジウム 11月10～13日

- ・日時場所：2017年11月10-13日、国立科学博物館。
- ・演者として、約10名程度を海外から招聘。招待旅費等は、科博サイドが支給。学会では演者選定に協力。会期は3日間、3日目は普及講演。

#### 【資料6】

##### 1. 編集委員会の体制

編集委員長1名、責任編集者5名、その他の編集委員38名（国内28名、海外10名）、編集幹事2名。

前期に引き続き、編集委員長、責任編集者、編集委員、編集幹事の構成で継続する。業務量軽減のため、責任編集



者および編集幹事の増員，大型菌類を担当できる編集委員を追加する．必要が生じた場合には，年度中にも編集委員などの追加を行い，編集作業負担の分担，平準化を図る．

## 2. Mycoscience 出版計画

- ・ Elsevier 社に出版委託を行う．年間契約ページ 420 ページとし，6 号分を出版する．
- ・ ISAM 10 関連の特別号出版について，審査状況を見つづ，58 巻 6 号または 59 巻 1 号としての出版を予定している．
- ・ オープンアクセスの導入

## 3. 「2018 年以降の Mycoscience 出版契約に関する Elsevier 社からの申入れ」への対応

## 4. 平塚賞授賞候補論文および日本菌学会会報論文授賞候補論文の推薦

## 5. 新投稿査読システム EVISE の導入手順について

- ・ 今年中の導入は困難な見通しである．

## 6. Mycoscience 投稿規定の修正について

- ・ Elsevier 社との契約変更に伴い，引用スタイルの変更や投稿料の新設など，投稿規定の変更を行う．

## 7. 日本菌学会会報（以下，日菌報）

- ・ 日菌報第 58 巻 1 号（5 月），2 号（11 月）を発行する．
- ・ J-STAGE に日菌報バックナンバーを掲載する（約 5 ヶ年分／年の作業ペース）．

## 【資料 7】

1. 日本菌学会ニュースレターの発行
  - ・ 白水幹事が編集委員長を担当する．
2. 日本菌学会のホームページのデザイン及び内容に関する改訂作業のため，ホームページワーキンググループを設置し，新ホームページの構造・コンテンツを検討する．
3. 微生物生態学会との共催アウトリーチ（菌学会の活動紹介なども可能）
  - ・ 細矢剛氏の他，ボランティアを募集する（11 月下旬，茨城県自然博物館にて）．
4. 大学生のための菌類入門講座
  - ・ 細矢剛氏が担当する（8 月 5 日，科博自然教育園にて）
5. 自然史学会連合主催講演会へのブース出展
  - ・ 保坂健太郎氏が担当する（11 月下旬）．
6. SNS を通じた情報発信
  - ・ 田中幹事が担当する．

収入の部			
費目	2016年度決算	2017年度予算	備考
<b>会員費</b>	<b>8,102,800</b>	<b>8,833,025</b>	
正会員	5,656,000	6,358,000	正会員578人×¥11,000として
学生会員費	558,800	727,925	国内学生会員120人×¥5,500; 海外13人×¥5,500×0.95
海外会員費	414,675	397,100	海外正会員38人×¥11,000として (-5%分手数料)
英文誌購読会員費	3,325	0	英文誌購読会員廃止のため
賛助会員費	850,000	750,000	賛助会員15社×¥50,000として
終身会費預金戻金	620,000	600,000	終身会費基金の1割(6,071,613×0.1)特別会計参照
<b>出版物販売</b>	<b>2,854,530</b>	<b>2,208,000</b>	
頁チャージ・超過ページ料	2,450,647	1,800,000	6000/ページ, 300頁程度と見積もり、カラー印刷含む
50周年記念出版,CD-ROM等	0	0	
会報等	395,883	400,000	
DVD販売, 新版用語集	8,000	8,000	希望者への配布; 単価8000円×1部
60周年記念書籍	0	0	
<b>事業費戻入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>学術振興会補助金</b>	<b>3,500,000</b>	<b>3,600,000</b>	交付内定額
<b>雑収入</b>	<b>1,317,208</b>	<b>1,300,700</b>	
預貯金利子	600	700	基金利子含む
学術著作権協会	71,358	70,000	
広告費	30,000	30,000	
寄付	0	0	
エルゼビア編集経費	1,200,000	1,200,000	
その他	15,250	0	菌類の事典印税
<b>前年度繰越金</b>	<b>26,076,220</b>	<b>27,169,359</b>	
<b>合計</b>	<b>41,850,758</b>	<b>43,111,084</b>	

支出の部			
費目	2016年度決算	2017年度予算	備考
<b>事業費</b>	<b>1,529,610</b>	<b>1,290,000</b>	
年次大会補助	16,500	100,000	
2017年度合同大会準備金	200,000	0	
菌類観察会補助	50,000	50,000	
学会賞	78,408	40,000	「学会賞」「教育文化賞」播代(イデア工房前年なみ); 平塚賞は特別会計 19440円(平塚基金)
60周年記念出版印刷費	300,000	0	
日菌報記事のPDF権利買取	12,852	100,000	
菌類講座	48,860	200,000	
国際シンポジウム	730,000	800,000	科研
教員向け研修	92,990	0	
<b>会報刊行経費</b>	<b>9,192,744</b>	<b>10,880,000</b>	
Mycoscience*			
日菌報編集費	312,000	1,200,000	
ニュースレター編集費	0		
Mycoscience 出版費	6,680,000	6,680,000	マーケティング、プロモーション活動費含む
日菌報印刷費	1,241,490	700,000	例年通り
ニュースレター印刷費	326,800	350,000	
一部オープンアクセス化費用	0	1,000,000	科研
アジア地域新種等公表	0	300,000	科研
雑誌等発送費	632,454	650,000	
<b>運営経費</b>	<b>3,959,045</b>	<b>4,970,920</b>	
役員選挙	276,007	0	
業務委託費	1,448,720	2,023,920	見積通り
ホームページ維持費	36,000	567,000	HPリニューアル含む
団体分担金	80,000	200,000	2016年度IMA年会費未納
交通費	1,101,230	1,200,000	
事務通信費	26,568	30,000	
法人化対応費	285,850	0	
会計士費用	0	150,000	
諸雑費	519,203	600,000	クレジット決済費用含む
各種手数料	185,467	200,000	振込手数料を含む
<b>予備費(次年度繰越金)</b>	<b>27,169,359</b>	<b>25,970,164</b>	
<b>合計</b>	<b>41,850,758</b>	<b>43,111,084</b>	

## 2017年度日本菌学会特別会計予算案

2017.4.23

## 【終身会員費基金】

収入の部			
費 目	2016年度決算	2017年度予算	備考
前年度繰越金	5,686,513	5,451,613	
終身会員費(新規納入分)	385,000	440,000	4名x110,000円として
利息	100	0	
合 計	6,071,613	5,891,613	

## 支出の部

費 目	2016年度決算	2017年度予算	備考
一般会計繰入	620,000	600,000	4/1時点の10%を一般会計に繰り入れる
予備費(次年度繰越金)	5,451,613	5,291,613	
合 計	6,071,613	5,891,613	

## 【平塚基金】

収入の部			
費 目	2016年度決算	2017年度予算	備考
前年度繰越金	2,235,440	2,216,050	
寄付	0	0	
利息	50	0	
合 計	2,235,490	2,216,050	

## 支出の部

費 目	2016年度決算	2017年度予算	備考
平塚賞(楯代)	19,440	19,440	
振り込み手数料	0	0	
予備費(次年度繰越金)	2,216,050	2,196,610	
合 計	2,235,490	2,216,050	

## 【菌学振興基金】

収入の部			
費 目	2016年度決算	2017年度予算	備考
前年度繰越金	6,809,401	6,643,587	
大会余剰金	0	0	
寄付	0	0	
利息	100	0	
合 計	6,809,501	6,643,587	

## 支出の部

費 目	2016年度決算	2017年度予算	備考
若手国際会議参加費補助	0	200,000	AMC, 日台シンポ
日韓シンポジウム	165,050	0	
振込手数料	864	2,000	
予備費(次年度繰越金)	6,643,587	6,441,587	
合 計	6,809,501	6,643,587	